

「黒井峯タイムトラベル」の使い方

古墳時代の集落を体験できます

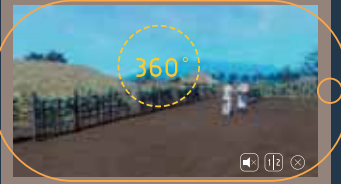
1 黒井峯遺跡の現地を訪れます。



2 トップページのパータル探索ボタンから、現地の地図画面を表示します。

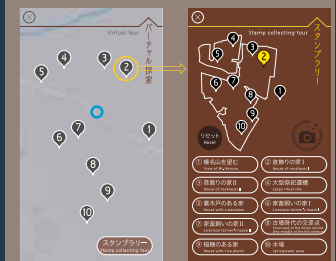


3 ビューポイントエリアに入ると古墳時代の集落を再現した360度VRが自動で表示されます。



スタンプラリーを楽しめます

1 バーチャル探索で、VRを表示するとスタンプラリーにスタンプが自動で押されます。



2 スタンプを全て集めると、オリジナルフォトフレームがプレゼントされます。



遺跡の解説を読めます

スタンプを押す前でも、スタンプラリーのビューポイント名から、各ポイントの解説を読むことができます。



「日本のポンペイ」をVRアプリで体験しよう！
「黒井峯タイムトラベル」 登場！



古墳時代の集落をVRで再現!!



現在の黒井峯遺跡

黒井峯タイムトラベル(群馬県公式アプリ)は群馬県渋川市にある国指定史跡・黒井峯遺跡をヴァーチャル・リアリティ(VR)の世界で体感しながら楽しく学べるアプリです。

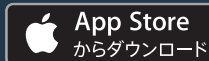


まずは「黒井峯タイムトラベル」をダウンロード!

群馬県のホームページからダウンロード先を選択してください



スマートフォンからQRコードで▶



注意 画面を見ながら歩き回ると危険です。周辺環境に十分ご注意ください。

〈問い合わせ先〉

群馬県生活文化スポーツ部文化振興課東国文化推進室
 〒371-8570 群馬県前橋市大手町 1-1-1

電話 **027-226-2525**

黒井峯遺跡
 周辺図



黒井峯遺跡のあらまし

古墳時代のタイムカプセル 1,500年前のある日、時が止まった



群馬県のマスコット
「くんまちゃん」



発掘調査の様子(渋川市教育委員会提供)

黒井峯遺跡は、6世紀中頃に起きた榛名山みわただけの二ツ岳火口で起きた噴火による軽石層の下から発見された、古墳時代の集落の遺跡です。噴火発生まで人々が実際に暮らしていた集落が、大量の軽石で短時間のうちに覆い尽くされたことから、古墳時代のリアルな生活を知ることのできる稀有な遺跡として大変貴重です。

発掘当初、研究者を大いに驚かせたのは、道や畠といった地表面の微細な痕跡や、平地建物が発見されたことです。このような遺構は、地面を掘り下げて造る竪穴住居とは異なり、集落が廃絶すると、すぐに風化して痕跡が失われてしまいます。しかし、黒井峯遺跡では、人々が生活していたままの集落が軽石でパックされたため、通常の発掘調査では検出できなかった、多くの建物が林立する集落の景観を復元することができたのです。

黒井峯遺跡の発掘調査によって、ムラの全体像、人々の住まい方、噴火が発生した初夏の生活、馬の飼育など様々な事実が明らかになりました。

古墳時代の人々の生活を解き明かす鍵となったのが、この黒井峯遺跡なのです。



へい ち たて もの 平地建物

この当時の建物の種類は大きく3つの造りがある。1つは縄文時代から続く、穴を掘った半地下式の「竪穴住居」と大きな穴を掘らない「平地建物」、そして「高床建物」である。この中で平地建物は使用目的で住居、作業小屋、物置小屋などに分かれる。



たて あな じゅう きょ 竪穴住居

縄文時代から続いている伝統的な造りで、深さ1mの四角い大きな穴を掘り、屋根を乗せた半地下式の建物である。掘った土は雨水が内部に入らないよう周囲に盛り上げ、屋根にも使われている。屋根は骨組みを造った上に茅かやを敷き、土を乗せ、茅を置く3層でできており、土乗せ屋根とも呼ばれる。入口は1か所、内部へは梯子はしこで降りる。内部には煙突付きの竈かまど、貯蔵穴、寝床がある。



うま ご や 馬小屋

内部はアパート式の構造で、黒井峯遺跡の「家畜飼いの家」には14頭分の小部屋がある。14頭の馬を飼育するのは大変なことで、毎日の食べ物(秣)の世話や皮膚を清潔に保つ手入れが必要で、人に懐かせたり、人が乗っても驚かないようにするためには、馬のことをよく知った人間が訓練する必要があります。